

小学校 5 年

タイムをちぢめろ！めざせ！ハードルマスター！！

羽曳野市立丹比小学校

教科

体育

単元名

タイムをちぢめろ！
めざせ！ハードルマスター！！

単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

・ハードル走の特性や、リズムよく走り越えるための動きのポイントを理解するとともに、自分に合ったインターバルでリズムよく乗り越える技能を身に付けるとともに、自己の能力に応じた課題を見つけ、その解決のための練習方法や取り組み方を工夫・選択し、友だちとお互いの動きのポイントやアドバイスを伝え合うことができる。

・自己の課題解決に向けて粘り強く練習に取り組み、友だちのアドバイスを尊重しながら協力して助け合おうとする。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

・図書館の資料や動画等から「タイムを縮めるコツ」を収集し、思考ツールを用いて自らの課題と結びつけ、改善策を論理的に説明できる。

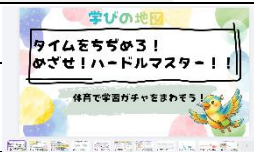
本単元で育む学びスキルと学校図書館活用スキル

C-STEP3, G-STEP3
H-STEP3, J-STEP3

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元における学習の展開（全 1 1 時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第 1 次 (1 時間)	・自分の走りを、学習用タブレット端末で撮影し、タイムを計測する。 ・撮影した動画を見て、自分の課題を見つける。	 
第 2 次 (1 時間) ☆	・学習計画「学びの地図」を児童と共有し、学習の見通しをもつ。 ・ハードル走が「速くなることば」とであらう。 ・集めた情報を整理する。（「くまでチャート」の活用）	
第 3 次 (9 時間)	・調べたことを学習用タブレット端末を使ってまとめる。 ・様々な方法（資料を見る、友だちと交流する、実際に走ってみる等）で自己調整を重ね、自分の表現をより良いものにしていく。（本時） ・自分の作戦をいかしてタイムを計測する。	

本時のねらい

友だちと作戦をみせ合って、見つけた『速くなることば』を使いながら、自分の作戦をパワーアップさせよう。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	★学校図書等の活用により期待される効果 (言語能力育成のためのポイント)
導入 (5 分)	1. 前時までの確認 ワークシートの確認。 2. 本時のめあて確認 友だちと作戦をみせ合って、見つけた『速くなることば』を使いながら、自分のアプローチをもっとパワーアップさせよう。	●指導上の留意点等 ★教科の特質に応じたことばを使っている。 ●図書館で調べた「専門的用語」と「自分の課題」が繋がっているか想起させる。
展開 (30 分)	3. 交流 クラウド上でワークシートを他者参照する。 4. 助言と推敲 教室や廊下（ハードル）を動き回り、質問やアドバイスをする中で、自分の作戦を推敲する。	●「私は〇〇という本で△△という言葉を見つけたから、～の作戦で使いました。」 「速さのひみつは〇〇だと考えたから、～の作戦をたてました」と、できるだけ根拠を言わせるよう促す。
まとめ (10 分)	5. 次時への見通し パワーアップした作戦で次時、実際に走り、タイムを計測することを確認する。 6. 本時のふりかえり 交流を通して、自分の作戦の何が強くなったのか、またその理由を記録する。	●自分の立てた仮説が正しいか試したくなる「必要感」を持たせる。 自分の学びをメタ認知させる。 自己調整の手立てとする。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・単元の中に、受信「であらう」⇒整理「かんがえる」「えらぶ」⇒外化「つかう」のサイクルを入れてデザインした。
- ・「次の 5 年生に伝える」という場面を設定し、外化することへの必要感をもたせた。
- ・「学びの地図」で、児童一人ひとりが単元全体の見通しや必要な情報をもった上で、主体的に学習に参画できるようにデザインした。
- ・運動が苦手な児童も言語活動を通して、意欲的に参加できるようにした。



自分の表現で、友だちが動くことができていたか
検証中。「その伝え方やとわかにいから…」